

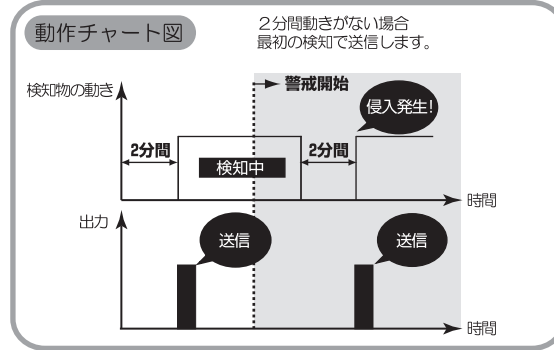
本製品はセキュリティシステム本体コミュニケーター（SS9-CM）に登録して使用する屋内用無線式パッシブセンサーです。

～特長・機能～

- ・2分間検知物の動きが完全でない場合、初回反応時送信する方法により省電力化を実現。
- ・センサー感度切換え機能付き（Low/Middle/High/Super High）

～安全にご使用いただくために～

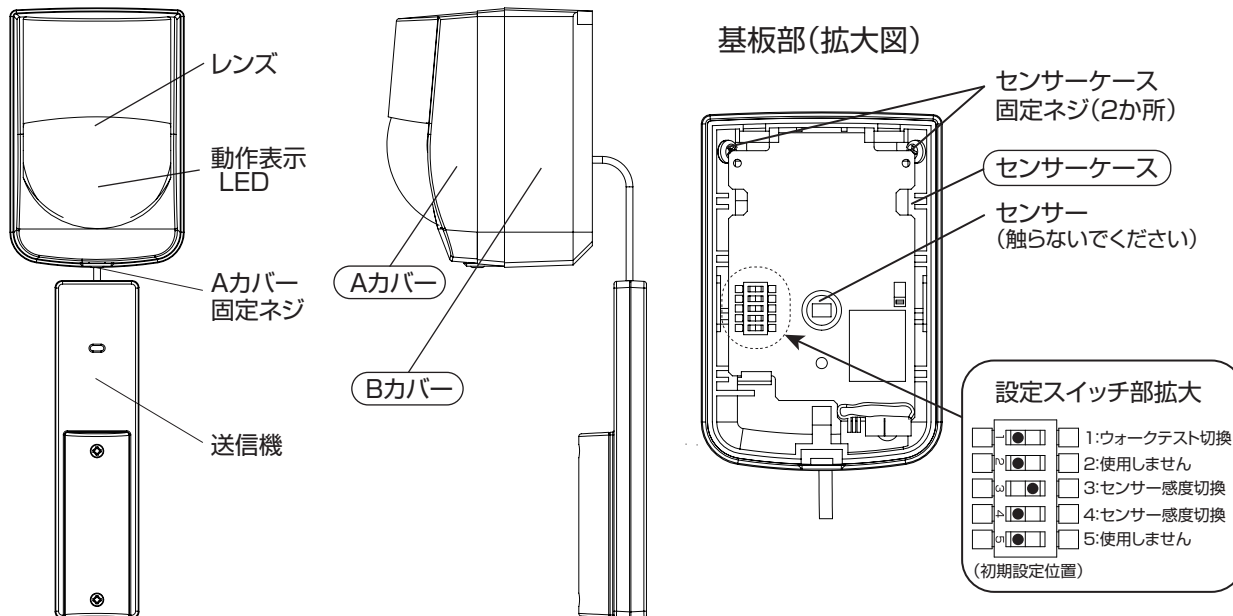
- ・ご使用になる前にこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
- ・この取扱説明書をお読みになった後は、いつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。
- ・この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために以下の表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。



	警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。		このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	注意 この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。		このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

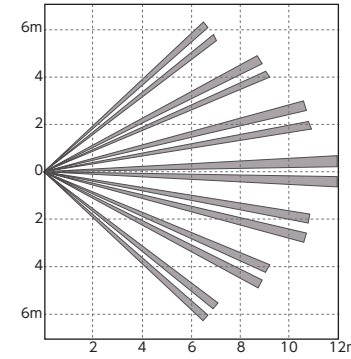
	警告 人体を検知する目的以外の用途では使用しないでください。	
	濡れた手で本体や、電源端子に触れないでください。また、水がかかった、異物が入った、煙が出て変な匂いがするなど異常が起きた時は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。事故や火災・感電の可能性があります。	
	分解や修理は絶対に行わないでください。火災や機器損傷の原因となります。	
	製品は確実に取付けてください。落下により怪我の原因となります。	
	注意 安全に使用していただくため、定期的な清掃点検を実施してください。不具合がありましたらそのまま使用しないで、お買い上げの販売店にご相談ください。	

1.各部の名称

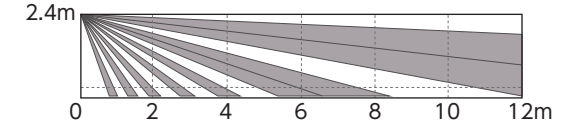


2.検知エリア

●上面図



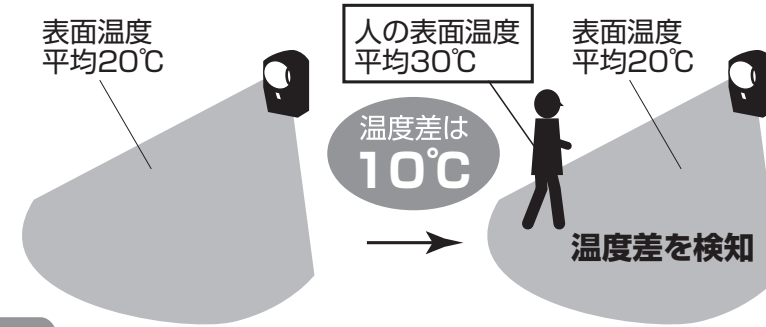
●側面図



3.センサの検知方法と設置上の注意

●センサの検知方法

センサは検知範囲にある床面や壁の表面温度を見続けています。その中に人が入ると温度差が生じてセンサが検知します。夏季になると人と検知エリア内の表面温度との差が小さくなり、検知しにくくなります。

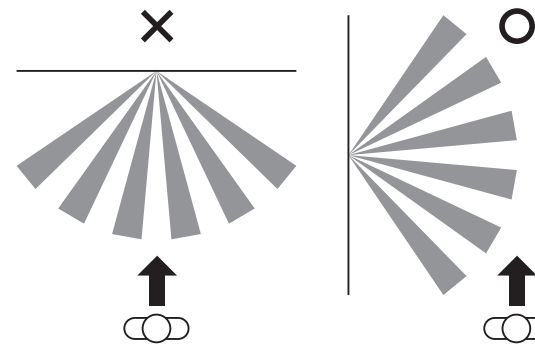


ポイント

防犯設計を行う際には製品の特性を十分に理解し窓やドアの開閉で検知する、窓ドアセンサーを併用するなどして対応することを推奨します。

●設置上の注意

・センサに対して正面から近づくとパッシブセンサーの特性上、反応が鈍くなります。必ず検知エリアを横切るようにセンサーを取付けてください。



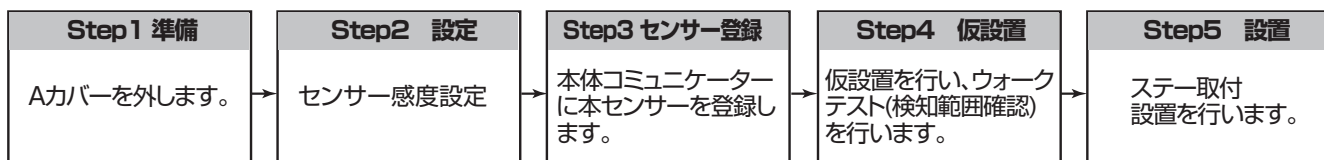
ポイント

侵入者の移動経路・移動方向(出入口や窓)に対して、パッシブセンサーの検知エリアを横切る位置に設置することが重要です。

- ・直射日光が当たらないようにしてください。
- ・検知エリア内にエアコンや暖房器具、FAXなどが入らないようにしてください。
- ・湯気や蒸気が本体に当たらないようにしてください。
- ・カーテンやパーテーションなどで検知エリアを遮らないでください。
- ・屋外には設置しないでください。

設置・設定編

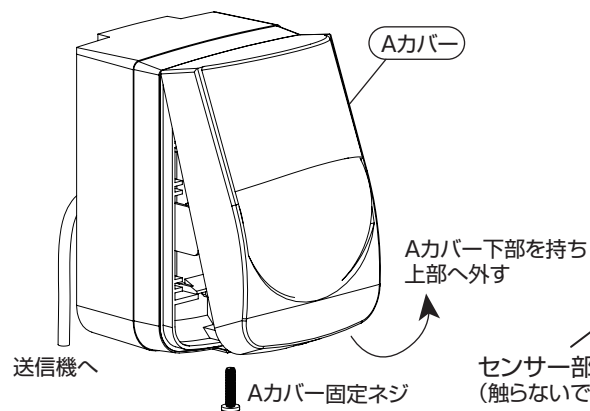
～設置の流れ～



Step 1: 準備

Aカバー取外し

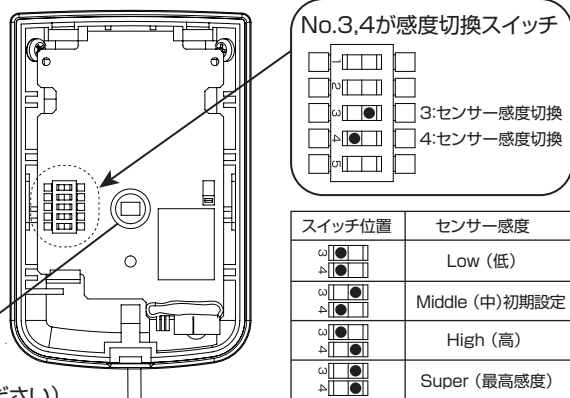
Aカバー固定ネジを外し、Aカバーを外します。



Step 2: 設定

センサー感度設定

出荷状態はMiddle(中)に設定されています。4段階調節可能です。



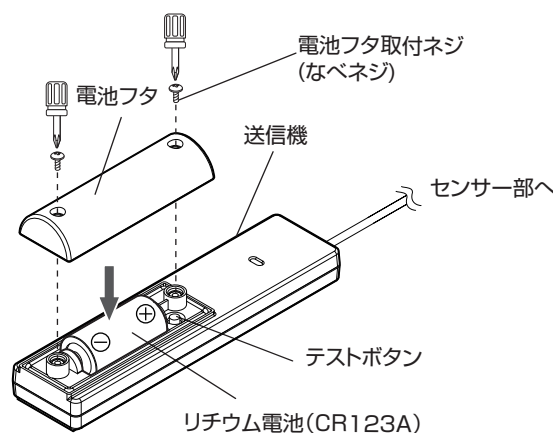
感度を上げすぎると自然な温度変化でも反応する場合があります。ご注意ください。

Step 3: センサー登録

- 送信機の電池フタ取付ネジを外し電池フタを外します。
- 付属のリチウム電池を挿入します。
- 本体コミュニケーターをセンサー登録モードにします。テストボタンを押し登録します。

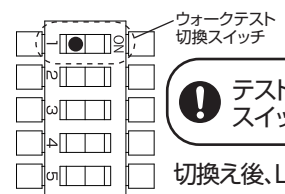
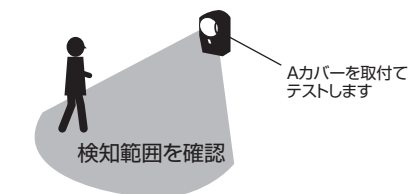
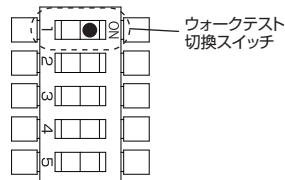
※セキュリティ本体コミュニケーターの取扱説明書を参照してください。

電池を入れてから正常に動作するまで約1分のウォームアップが必要です。



Step 4: 仮設置 ウォークテスト (最適なエリア設定が行われているか確認します)

- ウォークテスト切換え**
設定スイッチ (No. 1) を下図のように切換えます。
- ウォークテスト**
仮設置を行い、検知範囲を確認します。動作表示LEDが点灯すると検知しています。
- スイッチを切換える** (元の位置に戻す)
設定スイッチ (No. 1) を下図のように切換えます。



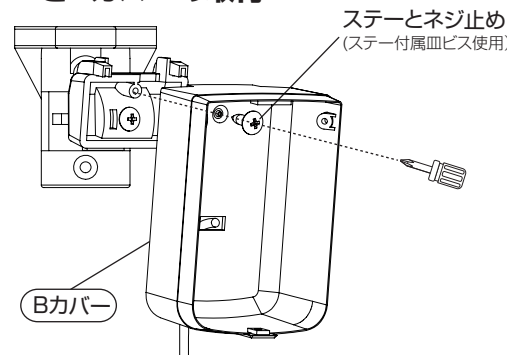
テスト後は必ずスイッチを切換えます

切換え後、LEDは点灯しません

Step 5: ステータス取付設置

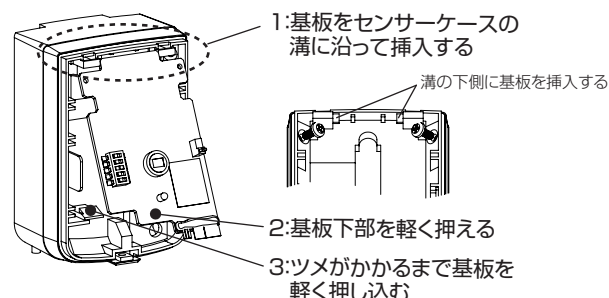
- 壁面にステータスを取付 角度を調整する**
壁へネジ止め (ステータス付風の白色ビス使用)
調整範囲
・左右方向 ±45°
・下方向 0~15°
- 基板を外す**
1: ツメを下へ軽く押し外す
2: 基板を上へ引き上げる
- センサーケースを外す**
ネジを外す
3: 下へスライドし基板を外す

④ ステータスとBカバーの取付



⑤ 配線をまとめセンサーケースを取付ける

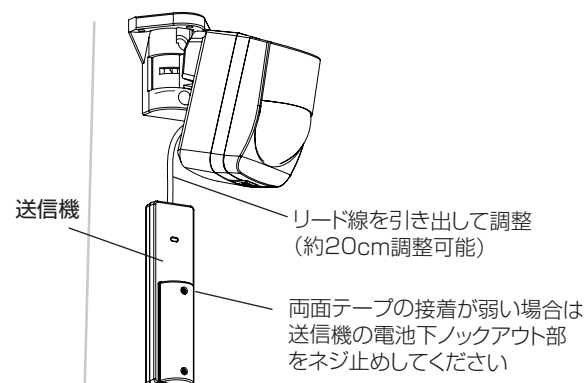
⑥ 基板をセンサーケースに取付ける



⑦ Aカバーを取付ける

⑧ 送信機取付

送信機のリード線長さを調整し、取付けます。(リード線の引き出し過ぎに注意してください)



よくある質問 Q&A

Question	Answer
● 人がいるのに検知しない	・本製品は2分間完全に検知物の動きがない場合、初回検知時に警報出力します。2分間完全に検知物が動かないようにしてください。
● 人が検知エリアにいないのに検知する	・検知範囲に動くものがある。(カーテン、ブラインドなど) ・検知エリア内に急な温度変化が起こっている。(エアコン、暖房機器など)
● 動作表示LEDが点灯しない	・通常モードでは点灯しませんが正常に動作しています。
● 本体コミュニケーターに通信エラーと表示された	・新品電池と交換してください。改善しない場合は販売店へご相談ください。
● 電池交換をしたが動作しない	・電池を外し、約1~2分間放置後、送信機のテストボタンを押し新しい電池を挿入してください。動作しない場合は、販売店にご相談ください。

仕様

型式	SS9-PA	使用周波数	426MHz帯 (小電力セクタリブの無線設備)
検知方式	パッシブインフラレッド方式	送信出力	10mW以下
検知エリア	立体警戒 12m×12m 85°	電波到達距離	見通し 100m
検知ゾーン数	78	電源	CR123A 1個 DC3V ※電池寿命約1年
取付高さ	1.5~2.4m	取付方法	ステータスによる取付
動作表示灯	通常時 : 消灯 ウォークテスト : 検知時点灯	使用場所	屋内
感度設定	LOW/MID/HI/Super 初期MID(中)	使用周囲温度	0~+40℃(氷結なきこと)
ウォームアップ	約1分間	使用周囲湿度	85%以下(結露なきこと)
外観サイズ	W65.2×H97.2×D78.5 (mm) 送信機部: W31×H125×D25 (mm)	重量	155 g (ステータス、電池除く)

※電池寿命は当社評価試験によるもので保証値ではありません。(40回送信/日として算出)

注意: 本製品は、不法侵入などを検知して警報をだすものであり、盗難や災害を未然に防ぐ装置ではありません。万が一発生した盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

製造・販売元
セイホープロダクツ株式会社

seihotech_190621